

<目次>

●西加瀬プロジェクトの環境アセス審議会を傍聴して

■臨海部の税金無駄遣いツアーに参加して

▲ お知らせコーナー

☆ 2/17～22 第13回中原・平和をねがう原爆展

☆ 2/19(日)第31回子どもの未来をひらく川崎集会

☆ 2/25(土)ゆめシネマ 23「標的」

☆ 2/28(火)第15回輝け！高齢期・かながわのつどい

☆ 3/12(日)第12回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

★ 編集後記

●西加瀬プロジェクトの環境アセス審議会を傍聴して

1月25日に西加瀬プロジェクトの環境影響評価手続きにもとづく審議会が開かれたので、傍聴してきました。

初めに西加瀬プロジェクトの環境評価に関わる手続き経過を事務局が時系列に読み上げ、業者による説明が始まったのが午後2時9分。

始まるや否や早口で昨年5月に出示された何百ページにも渡る環境評価準備書を抜粋して読み上げ始めた。非常に聞き取りづらい。それでも、集中して聞いたつもりだが半分くらいしか聞き取れない。

審議会っていったい何なんだという思いがよぎる。

準備書の説明が終わり、司会者(専門委員の一人)が「これから審議に入ります。」と言って20人の専門委員に質疑を呼びかけたのは午後3時48分。終了予定は4時30分なので、これじゃ終わらないのではという思いがよぎった。

しばらく沈黙が続く。まさか質疑無しで終わるんじゃないだろうなと思ったら、M専門委員が「緑化に関わって土壌汚染調査をした場所が植生のないところで行われていて調査が不十分ではないか」と質問。いい意見が出たなと思いきや、事務局が発言を求めて今度は、「見解書(市民の意見書に対して昨年10月に出示された業者の反論)の説明がまだです。」と司会者に促す始末。

そしてまた業者の説明がだらだらと始まり、説明が終わったのは4時15分。さすがにこれでは終われないということで、司会者から「本日は16時30分終了予定なので延期して後日行います」と宣言し終了。当日配付された審議会次第には、「1 議事(1)西加瀬プロジェクトに係る条例環境評価準備書について(事業者説明)」と一行だけで、次は、「2 その他」となっていて、まったく審議など最初からするつもりはないということなのか。

私は初めて審議会というものを傍聴しましたが、いつもこんな感じでやっているの

だろうかと疑問を感じました。

傍聴者からは「仕事を休んできたのに、また来なくてはならないのか」「次の予定はホームページで見てくれではなくて、今日の傍聴者に連絡すべき」などと市の担当係員に訴えたが、係員では即答できない。

とにかく、市の条例環境評価手続きがいかに杜撰でいい加減かということがわかった。また、業者(ダイワハウス)の態度も、今までの説明の繰り返しに終始して審議時間を取らせないという、非常に悪質で誠意の無いことがよく分かった。

このままで終わらせてはならない！

民主市政をつくる中原区の会 田鎖英男

■臨海部の税金無駄遣いツアーに参加して

税金の使い方、間違ってる！

1月23日、川崎臨海部の税金ムダ遣い調査バスツアーに参加しました。コースは、1475億円の臨港道路東扇島水江町線の工事現場。

次に、コンテナターミナルとリニア残土で埋立予定の堀込部、昼食後は、キングスカイフロントと300億円の多摩川スカイブリッジでした。川崎市には、本当にお金があるんだと実感です。臨港道路東扇島水江町線整備事業、大きな50m高さの橋脚二本など見て驚きました。1475億円という莫大なお金をかける、しかも際限なくこれからも金額が上昇するといいます。

市民のバス路線が無くなっても知らん顔なのに、臨港バスに年間800万円も予算援助してまで、多摩川スカイブリッジを通るバス路線まで作っています。臨海部の広大な土地に、湯水のようにお金をつぎ込んでいるのがよく理解出来て、目を見張りました。福田市長は恐ろしい感覚ですね。あれだけのお金があったら市民の小さな願いにいくらでも答えられると切実に思います。こんなこと、許されません。

3000筆の署名が集まった「西加瀬プロジェクト計画の中止を求める請願」が1月26日の市議会まちづくり委員会で審議されて、共産党の井口市議「採択」、他党派は全て「不採択」で結論は【不採択】になりました。

共産党の井口さんだけが私たちの声を代弁して下さいました。

前日の1月25日には、専門家によるアセス審議会がありました。2時間のうち1時間50分を企業に説明だけさせて審議になっていませんでした。

オンラインでの会議傍聴で顔が見えず、直接審議委員の意見も聞くこともできず、終了時には傍聴者の避難轟々です。全くおかしいです。

これでは不都合なことを隠しているとしか思えませんでした。

企業利益を優先する市政は要りません。

切実な市民の声を届けてくれる真っ当な議員を選んで議会を変えないと、つくづく感じます。

巨大物流倉庫を考える住民の会 広瀬千尋

▲ お知らせコーナー

☆第 13 回中原・平和をねがう原爆展

2/17(金)～22(水) 10時～17時

中原市民館 ギャラリー

主催：中原・平和を願う原爆展実行委員会

後援：川崎市平和館・川崎市教育委員会

☆第 31 回子どもの未来をひらく川崎集会

2/19(日) 10時開会

法政大学第二中・高等学校にて

講演・西郷孝彦さん(元世田谷区立桜丘中学校長)

校則をなくした中学校 —たったひとつの校長ルール—

資料代：500円

<http://miraishuukai.jugem.jp/>

☆ゆめシネマ 23 「標的」

元慰安婦の証言記事はねつ造？ 真実？

「歴史修正主義」とは。植村隆は何故標的に。

2/25(土)

① 10時

② 13時

③ 16時

入場料：一般 1000円 障 500円 学 200円

会場 かわさきゆめホール

申し込み問い合わせ

044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

☆第 15 回輝け！高齢期・かながわのつどい

—— in かわさき ——

憲法と高齢者の人権とくらしをまもろう

～軍拡 NO！ 社会保障の充実を求める政治を～

記念公演 松元ヒロ

特別講演 市古ひろかず

2/28(火)10時半

川崎市産業振興会館

資料代 800 円（要予約）

☎ 044-266-7532（受付：月～金 10 時～ 17 時）

s.shirovani@kawaikyo.or.jp

☆第 12 回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき(集会&デモ)

3/12(日)11:00

ゲスト：金子勝(経済学者) 北村賢二郎(弁護士)

問合せ：044-211-0121 (川崎合同法律事務所・三嶋健)

メール：kibounotsubasa@gmail.com

(かもした元)

<https://genpatsuzero.net/>

★ 編集後記

<学校は子どもにとって息苦しい場所ではない。>

教育現場の現状から、出口の見えない閉塞感を感じていましたが、「夢見る小学校」は希望を感じさせてくれました。

「通知表をつけねばならない法律は無い。」「遅刻数をカウントする義務は無い。」

「どう成長したかを評価することが大事で、マイナス点を数えても意味は無い。」

『発達障害』は個性。治さなければならぬ病気と考えるのは時代遅れ。」

「子どもたちを大人の価値観で枠に収めようとするから成長をゆがめられる。」

モヤモヤしていたことへの痛快な答えが次々と語られる。

公立学校でも、「子どもが真ん中」の教育を実践している学校がある。

悩める教師に。その校長曰く、「早く校長になりなさい。校長の裁量権は広くて、学校を作り替えることが出来る」と。

川崎でも、いつか私の孫(まだ居ません)がそんな学校に通える日が来ることを夢に見る。先生たち頑張れ！(Y)